



報告書提出日：2002 年 12 月 31 日(HP 版)

## KIDS プロジェクト報告書

プロジェクト名： 「KIDS 高校生プロジェクト2002」

プロジェクト・レビュー日： 2002 年 12 月 31 日

### 1. プロジェクト概要

- 主催： KIDS 高校生プロジェクト
- 協賛： 該当なし
- ディレクター： 片山 錬太郎（2002 年通年）
- 日程： プロジェクト承認日より2002 年12 月31 日
- 場所： 各活動内容に因る
- 主な活動内容：
  - ・ 高校生が主体的に企画、運営、総括を行う社会活動。
  - ・ KIDS 既存プロジェクトへの参加。
- 参加者：
  - 高校生 合計 14 人（延べ人数）
    - 児童養護施設 12 人
    - 一般応募参加 2 人
  - 大人スタッフ 7 人

### 2. プロジェクトの目的

- 高校生たちに自主的プログラムの始めから終わりまでを経験してもらうこと。
- 高校生たちに社会活動に経験してもらうこと。
- 高校生たちに企業活動の一端を見てもらうこと。

### 3. 目的を達成するためのチャレンジ

- 2001 年12 月交流会に検討した結果活動案についてすべて取り組む。
- 各活動 PDCA をしっかり行う。
- 2001 年12 月に参加した高校生が生活する施設との協力体制を構築する。
- 定期 MTG の実施。
- イベントリーダーの高校生と綿密な打ち合わせの実施。



#### 4. プロジェクトの成果

##### ( 1 ) K I D S プロジェクトへの参加。( 5 月 2 4 日 )

KIDS プロジェクトに高校生 4 人が参加。

当日は大人スタッフとペアとなり、T シャツ、アクセス、ラウンジを担当した。

事前梱包作業、事前交流会の準備に参加。

##### ( 2 ) 伊豆体験旅行の実施( 7 月 2 6 日 ~ 2 8 日 )

静岡県伊豆河津町にてキャンプ、自炊、ガラス体験、ハイキング等を実施。

大人スタッフ 7 名、高校生 6 名参加。

高校生プロジェクト初の独自企画。

高校生独自の企画書の作成および理事会での発表。

P D C A の実施。

- ・ 当初ダイビング、パラグライダーを計画したが理事会で賛成されなかった理由。
- ・ 男女混合部屋について反省会にて「なぜ駄目なのか」高校生と共に考えた。

##### ( 3 ) チャリティー映画会の参加( 1 1 月 1 7 日 )

高校生 3 人参加。

##### ( 4 ) スポーツ大会の実施( 来年 1 月実施予定 )

児童擁護施設の高校生を募集し( 全体で 2 0 名程度 ) バスケットボール、ドッチボール大会を計画し実行する。

現在準備中。

##### ( 5 ) その他

- ・ 高校生 MTG の実施( 計 9 回 )

KIDS オフィスを中心に MTG を実施。

- ・ スタッフと施設の先生との情報の共有化を行う。

各 M T G 後 T E L、F A X 等で議事録の送付。

定期訪問に参加( あゆみ学園 )

伊豆体験旅行の報告を先生に直接行う。( あゆみ学園、暁星学園 )

大人スタッフ、施設の先生との交流会を計画。

( 先生の都合により来年以降に実施 )



## 5. プロジェクト評価のための尺度とその実績

(ア) (尺度) 高校生たちによる主体的プログラムの実行。

(実績) 伊豆体験旅行の計画、実施および反省会を行う。  
スポーツ大会の計画。

(イ) (尺度) 専属スタッフ (高校生および大人) の増員

(実績) 大人スタッフは 4 人増、4 人減で増減なし。

高校生は 2 人減、10 人増 (延べ人数)。

現在は大人 7 人、高校生 8 人。

(MTG には平均して大人 4 ~ 5 人、高校生 3 ~ 4 人参加)

## 6. 今後の課題および解決のための提言

(課題)

(ア) 自主性と甘やかしの違いがあいまいである。

(イ) プロジェクトへのモチベーションを高校生が持続する方法。

(ウ) 広報活動 (HP への活動内容掲載。インフォメーションでのスタッフ勧誘。)

(エ) 高校生の男女比差が大きい。(男女比 3 : 1)

(オ) 本プロジェクトが何をやろうとしていて何を目指しているのか、どんな高校生に参加してもらいたいのか、施設側に十分に伝わっていない。

(提言)

上記課題に対して、

(ア) 事前に大人 MTG の実施し共通の認識を持つ。

(イ) 高校生との MTG 方法を検討する。

例)

・ 募集時に毎月第 x 土曜等明記し定期 MTG とする。

・ 司会、書記等役割を決め進行を高校生に任せる。

(ウ) HP を作成し、インフォメーションにて活動内容を知ってもらう。

(エ) 募集施設を再考する。

募集の時期を 4 月 ~ に変更することも視野に入れる。(現在は 1 月募集)

(オ) 施設の担当者との交流会を実施する。

企画書の説明を施設の担当者に行い主旨をご理解頂く。



7. プロジェクト収支実績（12月31日現在）

(カ) 収入：

KIDS 予算	1,000,000円
伊豆体験旅行参加費	<u>95,000円</u>
計	1,095,000円

(キ) 支出：

参加費（伊豆体験旅行ガラス工房）	29,760円
交通費（伊豆体験旅行、MTG）	241,002円
記録費	11,648円
事務用品・コピー代	10,752円
会場費（MTG 場所代）	57,540円
食費（伊豆体験旅行、MTG 時昼食）	121,735円
その他（伊豆体験旅行木炭等）	16,629円
宿泊費（伊豆体験旅行）	56,000円
葉書・封書代	2,140円
傷害保険（伊豆体験旅行）	<u>6,760円</u>
計	553,966円

以上